

ヘルパンギーナ

ふくおか耳鼻咽喉科

〒477-0032 愛知県東海市加木屋町2-224-2

TEL (0562) 38-2800

ヘルパンギーナって何？

発熱と多くの小さな口内炎が特徴の子どもの夏かぜです。

症状と経過

突然の発熱に続いて、上あごの奥やのどちんこの近くに赤い小さな水疱（水ぶくれ）や口内炎がたくさんできます。ひどくなると、つばも飲み込めないほどの痛みを感じます。3日前後で熱は下がり、発症から1週間ほどで回復します。



原因

夏かぜを引き起こす、コクサッキーウイルスが原因です。6月から8月が流行時期で、1～4歳に多く発症します。潜伏期間は3日前後です。

当院での治療

原因となるウイルスに効く薬はありませんので、症状が強ければ、解熱鎮痛剤を使用し回復を待ちます。

生活上の注意点

のどの痛みのため食欲がなくなりますので、脱水症状にならないよう水分をよく摂るようにしましょう。入浴は高熱でなければ、問題ありません。予防は手洗いやうがい基本です。

登園・登校について

学校保健法での規定はないため、本人の体調によって登園・登校の判断をします。解熱すれば登園登校は問題ないでしょう。

★ 症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。

おだしになさってください。

